

9月14日 日 Jリーグディビジョン2 愛媛FC v s モンテディオ山形戦 【キックオフ】19:00【会場】ニンジニアスタジアム 被災地支援マッチ開催!

Supported by **SOLATO**

2011年3月11日の東日本大震災が起こってから3年半、毎年、被災地支援活動を続けてきた愛媛FCは、太陽石油株式会社のサポートのもと、今年も被災地支援マッチを開催いたします。



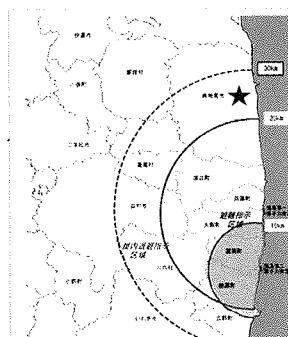
9月14日のSOLATOサンクスデー（山形戦）に
福島県南相馬市からマーチングバンド「Seeds+（シーズプラス）」がやってきます!

Seeds+の母体は、福島県南相馬市立原町第一小学校によるマーチングバンド部。震災前は全国大会の常連校でした。しかし、震災が起こった時、福島第一原発の事故で自分たちの住む地域が緊急避難準備区域となってしまう、メンバーの半数が埼玉県、宮城県等県外へ避難し、活動を一時中断せざるをえない状況になってしまいました。

その後、メンバーの1人が「離れ離れでも、もう一度、全国大会に出たい」という思いを保護者に伝え、その思いに応えようと指導者、保護者が活動再開のために楽器を集めて、避難している各地域で練習できる体制を作りあげました。月に1,2度しか全体練習が行えないような状況の中、一生懸命各自が練習を行い、2012年1月末には、地域コンテストをみごと勝ち抜き、再び全国大会出場を果たすことができました。

今回、このSeeds+のメンバーの内13名の中学生が、福島県から山形戦が行われるニンジニアスタジアムにやってきます。現在、南相馬市は震災前の半分しか子供がいないという状況。

しかし、「どんな境遇であっても、諦めたら終わり。進まなければ何も得られない。」という合言葉のもと、Seeds+は夢をもち前を向き頑張り続けています。スタジアムで彼らの熱い気持ちがかもった演奏を聴いていただき、被災地の「今」を感じてください。



支援の内容

この試合のチケット料金の一部は被災地の支援にあてられます。

義援金の活用方法

マーチングバンドは練習を体育館内で実施する必要がありますが、他の団体も放射能汚染を心配して活動を屋内で行うため練習場所が重なってしまうことが多く、Seeds+は一定の場所で練習することができていません。そのため、練習場所が変更になる度に、楽器を運搬する手間、運搬費や会場の使用料等が余分にかかってしまっています。そして、この余分にかかった費用は、メンバーの保護者が個人負担しているのです。そこで、今回のチケット料金の一部を、Seeds+がこれからも前向きに夢をあきらめずに活動を続けていけるよう、彼らの活動費として提供します。

【演奏時間】 試合開始前（18時50分頃）のスタジアム内 ピッチ中央部

愛媛FCの過去の主な被災地支援活動について

2011年3月

エミフルMASAKIにて
チャリティーオークション開催



2011年4月

中四国のJクラブ4チーム合同の
チャリティーマッチ開催



2011年6月

愛媛FCレディースによる
チャリティーフットサル大会開催



2011年シーズン

1シーズンを通して、スタジアムにて
被災地の風評被害に苦しむ野菜を販売



2012年1月

愛媛FCレディースによる
第2回チャリティーフットサル大会開催



2012年7月

福島県からフラダンスチームを招待して、
被災地支援カーボンオフセットマッチを開催



2013年2月

愛媛FCレディースによる
第3回チャリティーフットサル大会開催



2013年10月

選手による宮城県名取市閑上地区での
側溝探索活動の実施



2014年4月

選手による宮城県名取市閑上地区での
側溝探索活動の実施



2011年4月～現在

スタジアムにて被災地支援を目的とした
義援金募集活動を実施

